

本日(11/7)総合の頭角日 学長・協議会連日国交要求 に公用賃貸問題の解消に注目する。

* 本日の行動予定(10.7)

- 国交要求集会に結集せよ! 工学部玄関前
- 「国立準備会」に参加しよう! B-525室

我々、田代議長団は、さる10月1日、当局に下記の如くの学長・協議会との連日国交を要求する「公用賃貸問題」を手渡した。この賃貸問題は我々の大学改革の出发点として重視している団体を実現させることのための一環である。公用賃貸問題をつきつけるまでに我々は教授会あるいは工学部長を通じて日立を要求し、さらに、当局の引延にて押延して10月30日には、当局の懇請をうけねえとして、教養学生において1000名の学友の結集のもとに日立要求決起集会を成功させ、当内でも行動した。これら一連の日立要求の運動の中に公用賃貸問題は位置づけられてくる。本日の正午が眞告締切期限であるので大学当局の態度に注目してもらいたい。我々は本日10月1日より工学部玄関前に、回音に対する集会(拒否されるときは当然抗議集会に行こう)を行う。

現在、狂氣(?)たたぬ者、弾圧が具体的に行なわれている状況の中で、連日国交の意義を理解するためにも、集会に結集しようではないか? 最後に再度、田代議長団に参加するよう呼びかける。集会後3:00よりB525室で行われる「国立準備会」に参加して下さい。

学長・協議会殿

公用賃貸問題

大島当局は一貫して「話し合い路線」を主張してきた。(々ぐながら、実際の事態の進展については9月29日の学長・協議会連立(件)賃貸問題、医工部店舗問題)を一意的に破棄した上、1ヶ月に亘りたる件件問題件件下で「授業再開」をなく(能動的に行い)、一方全国の学園斗争あるいはその一環としての所大斗争において提起された店舗問題に対して当局は単なるアコス案を答へ、更に件件の力を借りて既存へ復帰させたと我々は考へている。当局は現在に至る位置は「やむをえなかつた」(ひ)とは「この道(々)ない」のである」と短絡的に結論づけているが、これは当局の一意的な神(?)づであると言える。医工部店舗問題はどうするのか、内外の圧力に「やむをえなかつた」というからこそ後、国家(市当局)の干渉にどのように対応するのかといった問題について何ら明らかにしてない。

この様な事態において、我々は市当局の「正常化路線」を無批判に受け容れ、これを押し進める当局を許すことはできない)。實の市大の构建は実質的(?)に内らの可能性となると確信するものであり、我々は所度協議会連立を要求する。

今回の要求に際して、我々は10月15日に工学部幹部員を通り、10月16日には工学部教授会の要意を得て工学部長事務取扱あわせ原研究所長代行を通して大衆国交要望書を学長・部局長会に提出して来た。更に10月20日には原研究所長代行を通じて学長に予算平衡を持つよう要求してきた。

(うらへ)

我々は最短で大蔵当局に申し合ひ、こゝに至った事情を明らかにして、その責任を明確にすることを始めに心置きあり、そのことあざで今後の市長の内閣はありえないと考える。(又)、先づ要望に対する本日(10月30日)に至っても即ち実現されれば正式回答されるべき理由。

1. 本日(10月30日)に至っても即ち実現されれば正式回答されるべき理由。
2. 工院決まり10月16日に工学部教説会を取て提出した申入書の回答。

昭和44年10月30日

連日国交訓長団

連日国交参加団体

工学部；助手助講会、工院協、応化工・工・工・工、応化スト実、
土木工、建築業反会議準備会、応物工(有)工(有)、
理学部；理院協、理統一国交学生訓長団、

原研；所長有志、

家政学部；社会福祉工・工自主講座、住居工角、児童工(有)、
食物工(有)工(有)、

商学部；商スト実、経営責研連、

法学院；法スト実

文学部；教育学教室

以上

本日(7日)

国交要求集会
国交準備会

1. 工学部玄関前
3C-B-525室

連日国交訓長団(少)